

事務事業名		市道禪定角谷線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G					
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	景山 泰彦					
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。						
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		電話番号	0854-40-1063 (内線) 2463					
目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。				予 算 科 目	0:1:4:0:0:3 1:0:1:5:0:2	大 事 業 名 中 事 業 名	市道道路整備事業 交付金道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 年度 ~ R4 年度)	本路線は主要地方道出雲奥出雲線から分岐し、出雲市市道を経て一般県道稗原木次線へ接続する道路である。地元住民の生活道路、市民バス運行経路であると共に、出雲市方面へアクセス道路として重要な路線となっている。 しかし、幅員が狭くカーブが連続し見通しが悪いことから非常に危険な状況となっている。本事業で狭隘箇所の解消と、視距の改善を行い、道路利用者の安全性と利便性を向上を図る。整備延長 L=960m 幅員 W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・道路改良工事 ・舗装工事	事業期間の延長により単年度事業費の縮減を図った。 施工時期・方法について、県との調整を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	25.5	63.0	90.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【地方債】過疎債		財源内訳	国庫支出金	千円	45,561	32,298	16,464	26,397
【現年分】			県支出金	千円				
工事費	28,885千円		地方債	千円	36,000	25,100	13,300	19,900
補償費	0千円		その他	千円				
事務費	930千円		一般財源	千円	145	82	51	145
合計	29,815千円	事業費計		千円	81,706	57,480	29,815	46,442

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	狭隘箇所の解消および視距の改善を行い、道路利用者の安全性と利便の向上を図ることができた。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。